

都民等のボランティア活動等に関する実態調査〈概要〉

平成29年3月

【団体調査】

調査実施の概要

1 調査目的

東京都がボランティア活動を推進する中で、各種団体のボランティア活動に関する取組状況等についての把握を行う。

2 調査項目

【企業、NPO法人、大学、中学高校】

(1) ボランティア活動について

【町会自治会】

(1) 団体の活動について

(2) 他の団体との連携について

(3) その他の活動などについて

3 調査設計

(1) 調査対象：東京都の区域内に事務所又は事業所を有する法人またはその他の団体

(2) 標本数：1,015団体（企業500、NPO法人200、大学30、中学高校70、町会自治会215）

(3) 標本抽出方法：＜企業＞帝国データバンクの企業データ等より下記のとおり抽出

（大企業についてはボランティア活動に積極的に取り組む企業から抽出
中小企業については、無作為抽出）

ア 大企業（資本金5億円以上） 150社

イ 中小企業（1,000万円未満） 50社

ウ 中小企業（1,000万円以上3,000万円未満） 60社

エ 中小企業（3,000万円以上5,000万円未満） 60社

オ 中小企業（5,000万円以上1億円未満） 60社

カ 中小企業（1億円以上3億円未満） 60社

キ 中小企業（3億円以上5億円未満） 60社

＜NPO法人＞都内のNPO法人から特定非営利活動促進法第2条第1項別表に掲げる20分野を考慮し、無作為抽出

＜大学＞都内に住所がある大学の中から、ボランティアセンターを設置している大学から15校と設置していない大学から15校を抽出

＜中学高校＞都内の公立私立中学・高校（通信制を除く）のうち、ボランティアに関する表彰の受賞歴のある学校を優先して、抽出

＜町会自治会＞東京都町会連合会に加盟する町会自治会連合会のある区市に抽出を依頼

(4) 調査方法：郵送法

(5) 調査期間：平成28年9月15日～11月14日

4 回収結果

	企業	NPO法人	大学	中学高校	町会自治会	合計
有効回収標本数	132	73	21	45	185	456
回収率(%)	26.4	36.5	70.0	64.3	86.0	44.9

東京都生活文化局

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※M. A. はいくつでも選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

I 企業向け調査

1 ボランティア活動について

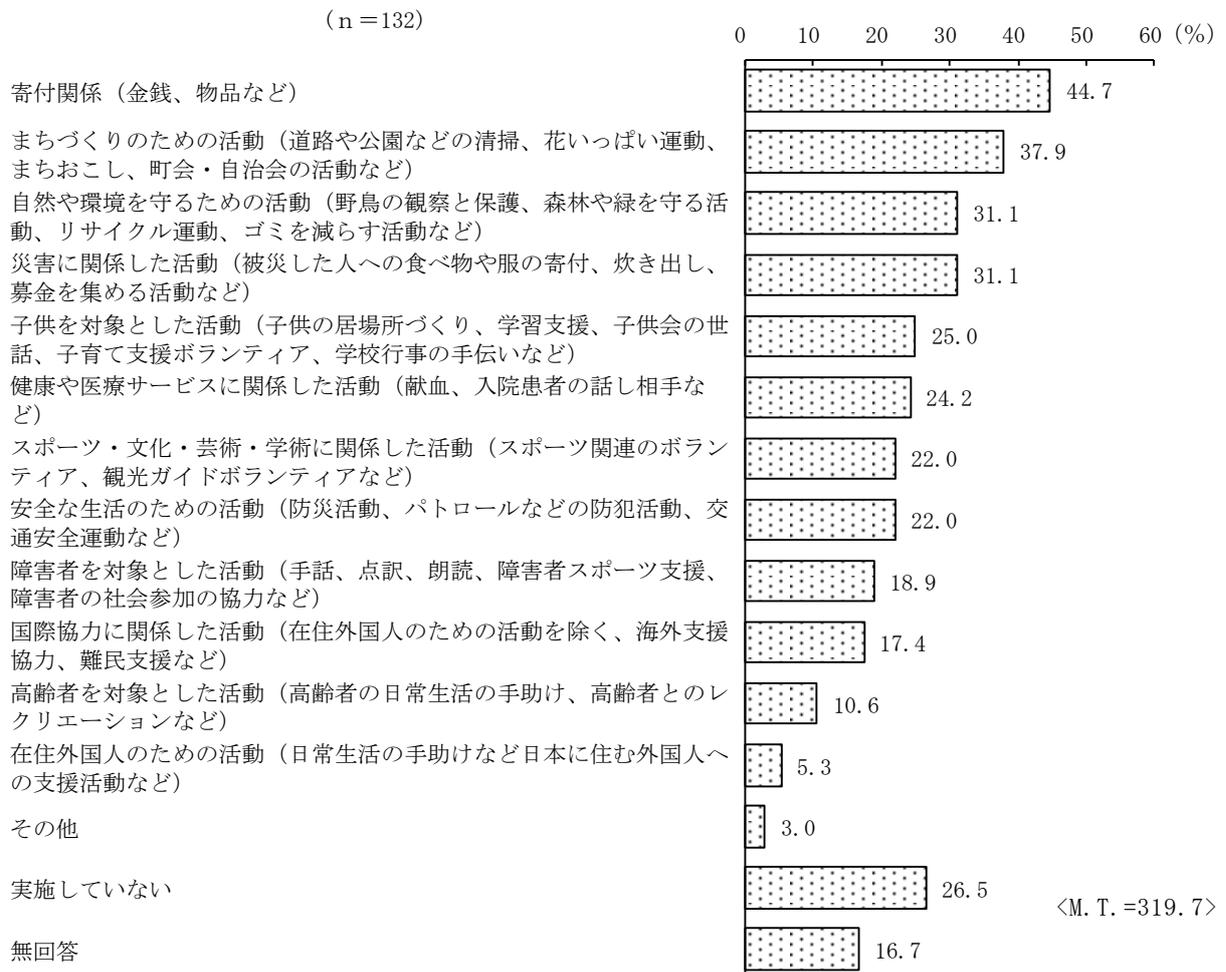
(1) 実施している社会貢献活動

実施しているボランティア活動等を聞いた。(M. A.)

(本文P141)

・「寄付関係」がトップ

・「まちづくりのための活動」、「自然や環境を守るための活動」、「災害に関係した活動」が続く

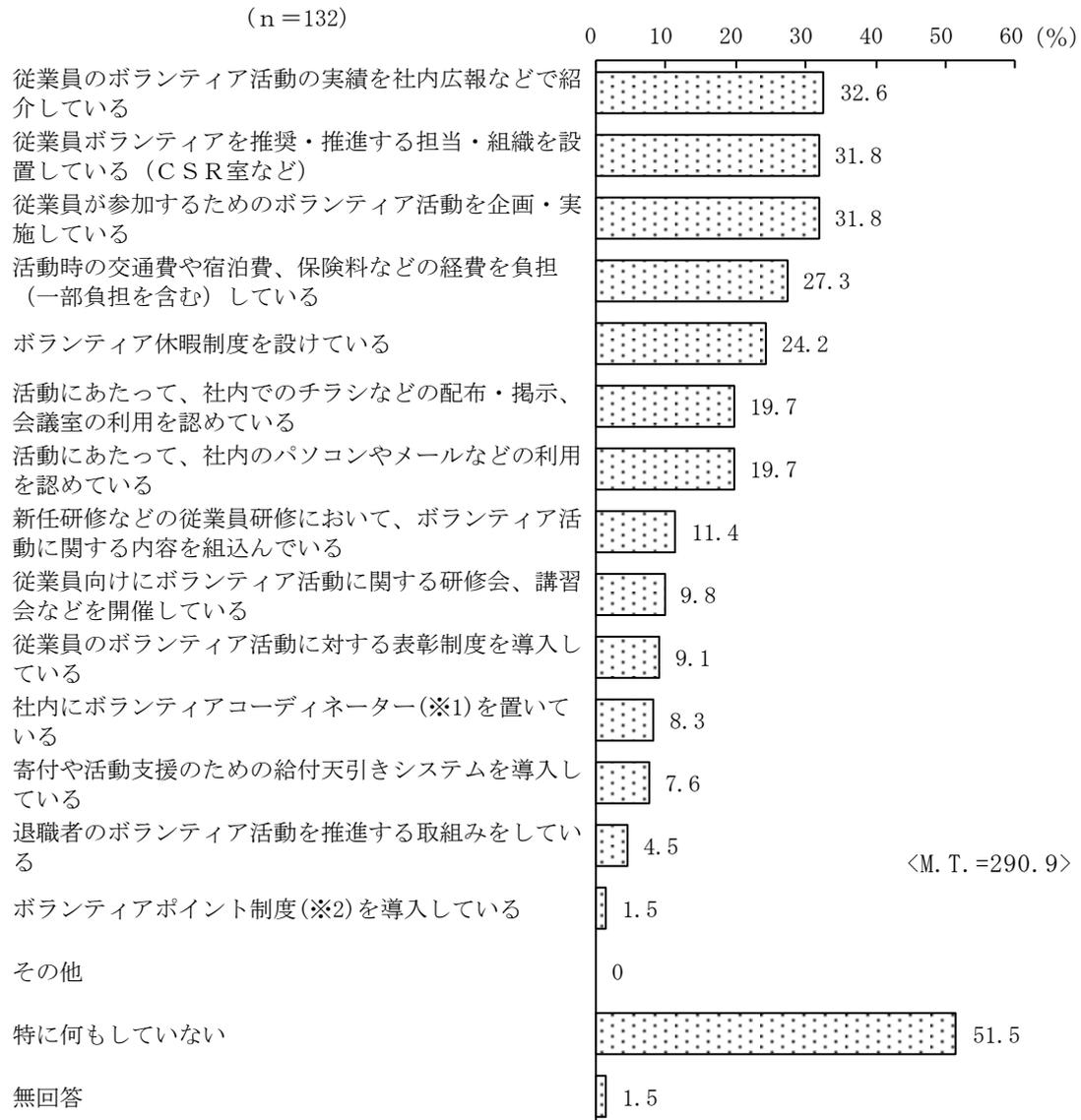


(2) ボランティア活動の推奨・推進のためにやっているもの

従業員のボランティア活動を推奨・推進するためにやっているものを聞いた。(M. A.)

(本文P142)

- ・「従業員のボランティア活動の実績を社内広報などで紹介している」がトップ
- ・「従業員ボランティアを推奨・推進する担当・組織を設置している」、「従業員が参加するためのボランティア活動を企画・実施している」が続く
- ・「特に何もしていない」は52%



※1 ボランティアコーディネーター：ボランティア活動について、活動する側と受け入れ側を調整する人材

※2 ボランティアポイント制度：ボランティア活動にポイントをつけて、そのポイントに応じて特典を受けられる制度

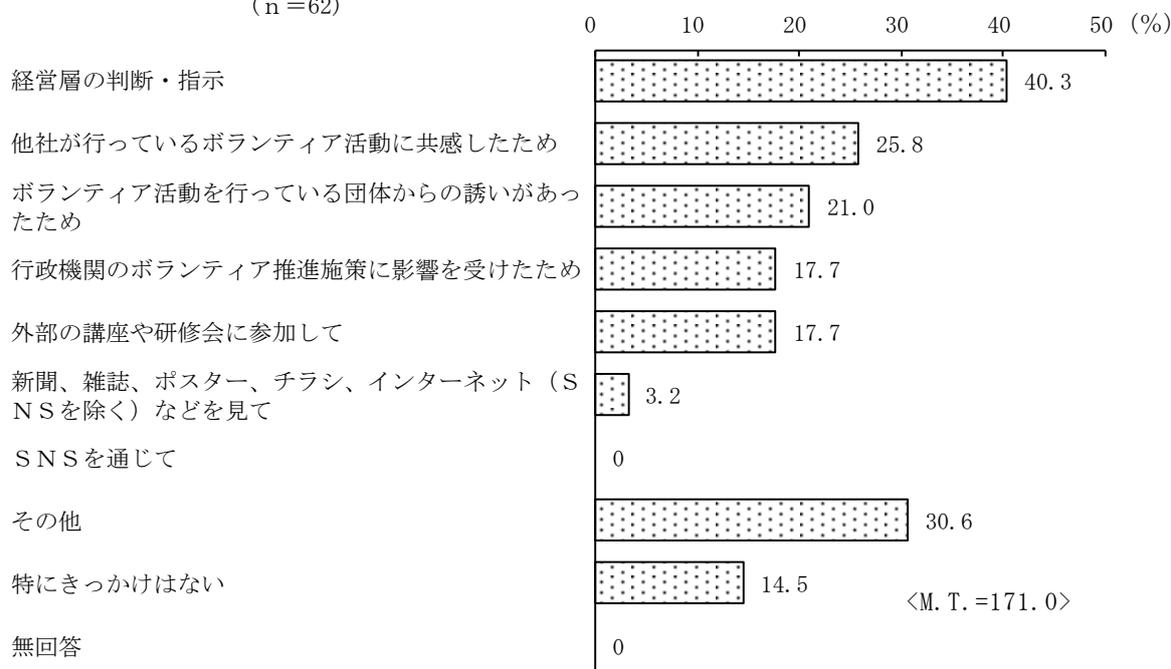
(3) ボランティア活動の推奨・推進の取組を始めたきっかけ

従業員のボランティア活動を推奨・推進する取組を行っている企業（62社）に、推奨・推進する取組を始めたきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P143）

・「経営層の判断・指示」がトップ

（n=62）



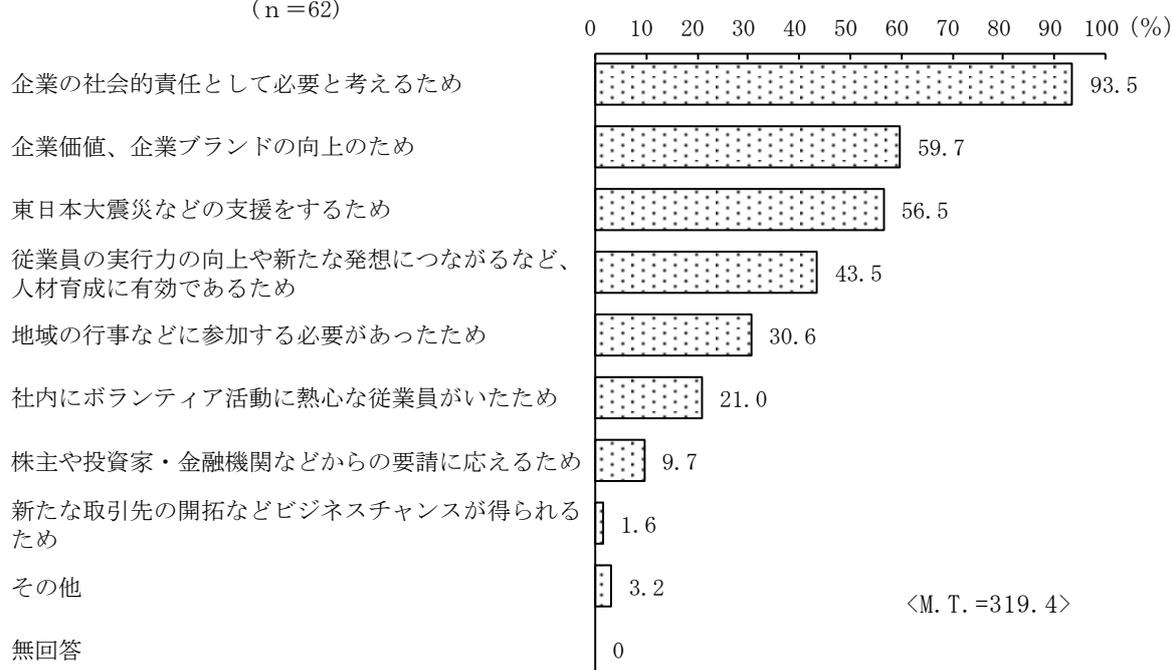
(4) ボランティア活動の推奨・推進に取組む理由

従業員のボランティア活動を推奨・推進する取組を行っている企業（62社）に、推奨・推進に取組んでいる理由を聞いた。（M. A.）

（本文P144）

・「企業の社会的責任として必要と考えるため」がトップ

（n=62）

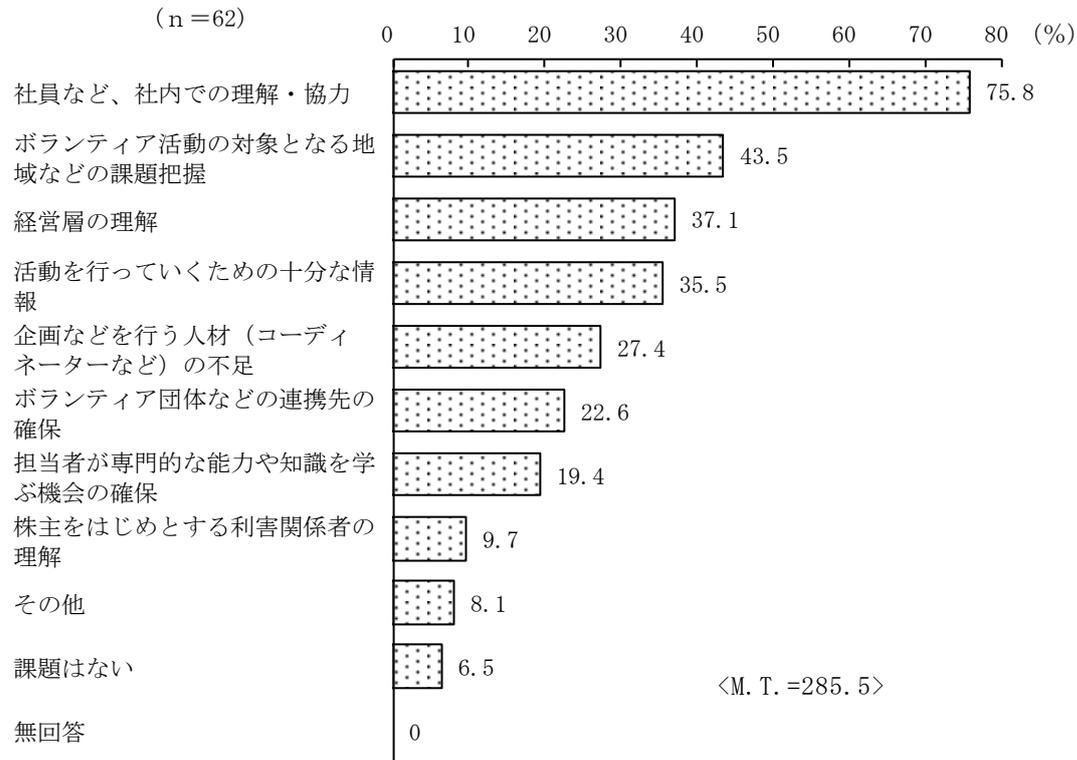


(5) ボランティア活動を進めるうえでの課題

従業員のボランティア活動を推奨・推進する取組を行っている企業（62社）に、活動を進めるうえで課題と考えていることを聞いた。（M. A.）

（本文P145）

- ・「社員など、社内での理解・協力」がトップ
- ・「ボランティア活動の対象となる地域などの課題把握」、「経営層の理解」、「活動を行っていくための十分な情報」が続く



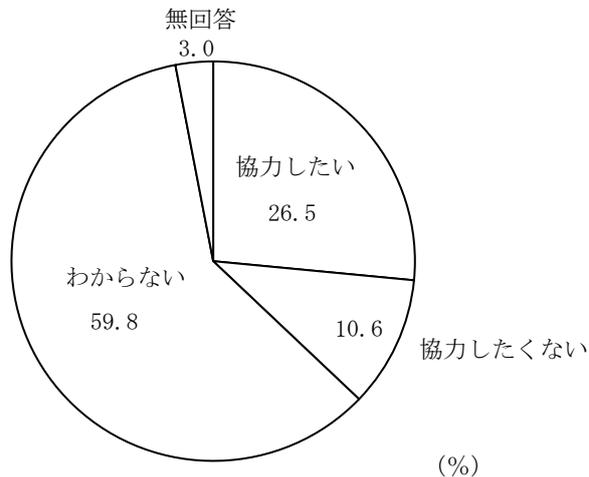
(6) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力の有無

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動に協力したいかを聞いた。

（本文P152）

- ・「協力したい」は27%
- ・「協力したくない」は11%

(n = 132)



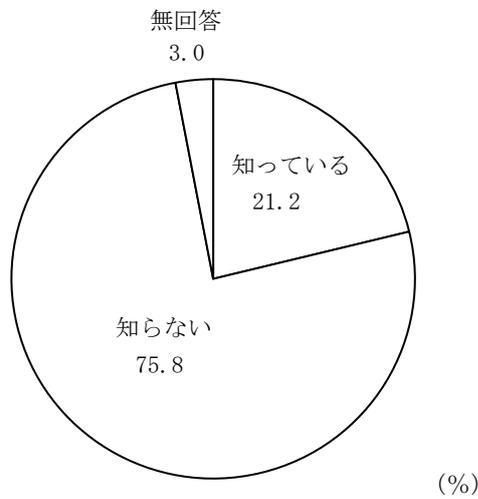
(7) 東京ボランティア・市民活動センターの認知度

東京ボランティア・市民活動センターを知っているかを聞いた。

(本文 P154)

・「知っている」は21%、・「知らない」は76%

(n = 132)



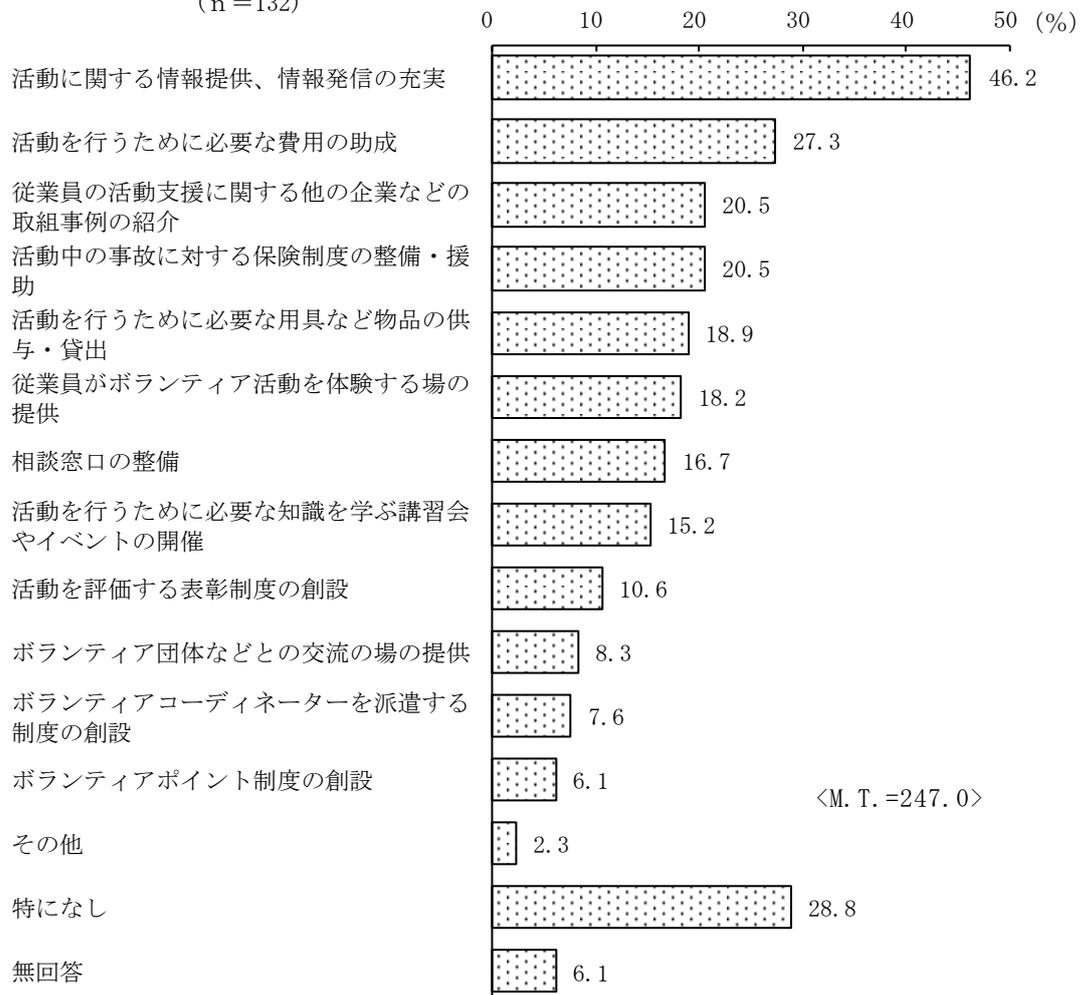
(8) 行政に対する要望

従業員のボランティア活動を推奨・推進するために、行政に対する要望を聞いた。(M. A.)

(本文 P156)

・「活動に関する情報提供、情報発信の充実」がトップ

(n=132)



II NPO 法人向け調査

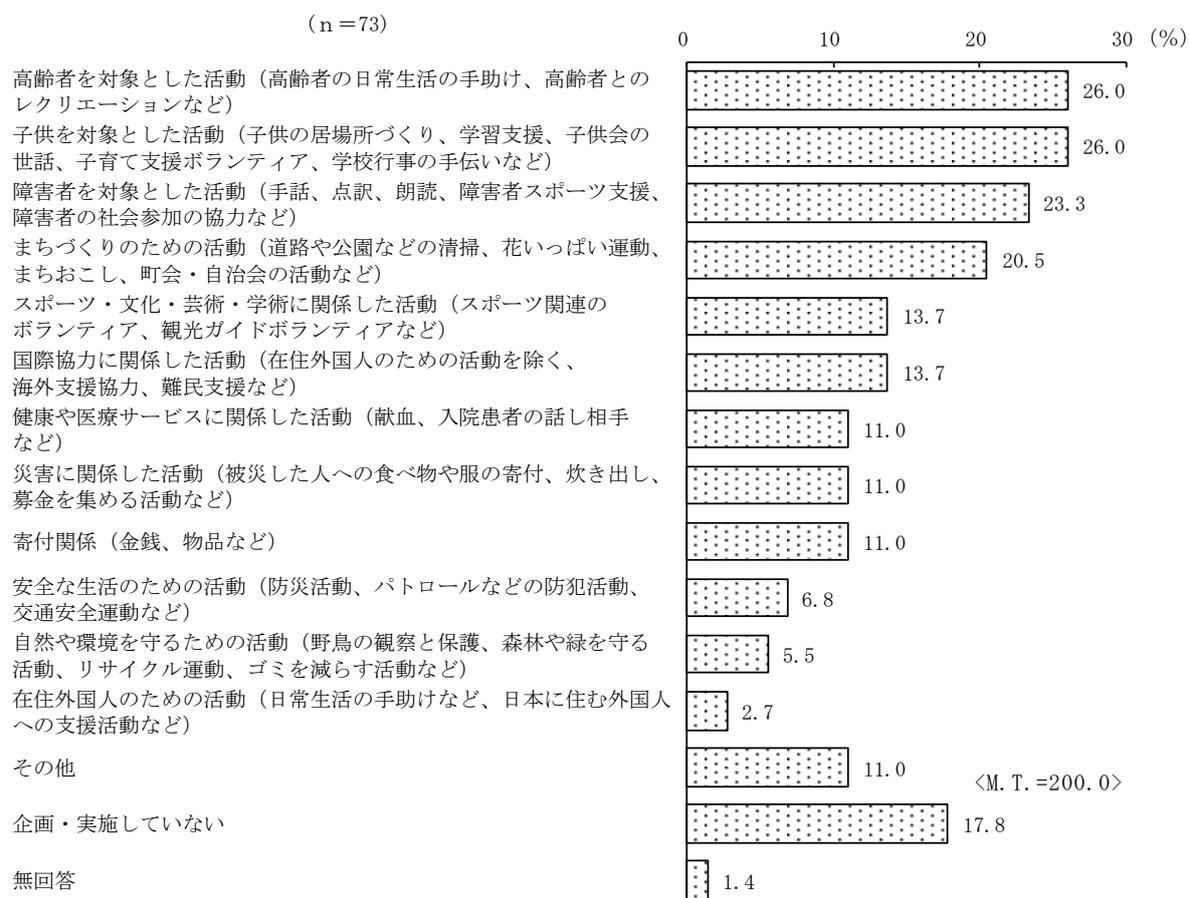
1 ボランティア活動について

(1) 実施している社会貢献活動

実施しているボランティア活動等を聞いた。(M. A.)

(本文P161)

- ・「高齢者を対象とした活動」、「子供を対象とした活動」がともにトップ
- ・「障害者を対象とした活動」、「まちづくりのための活動」が続く

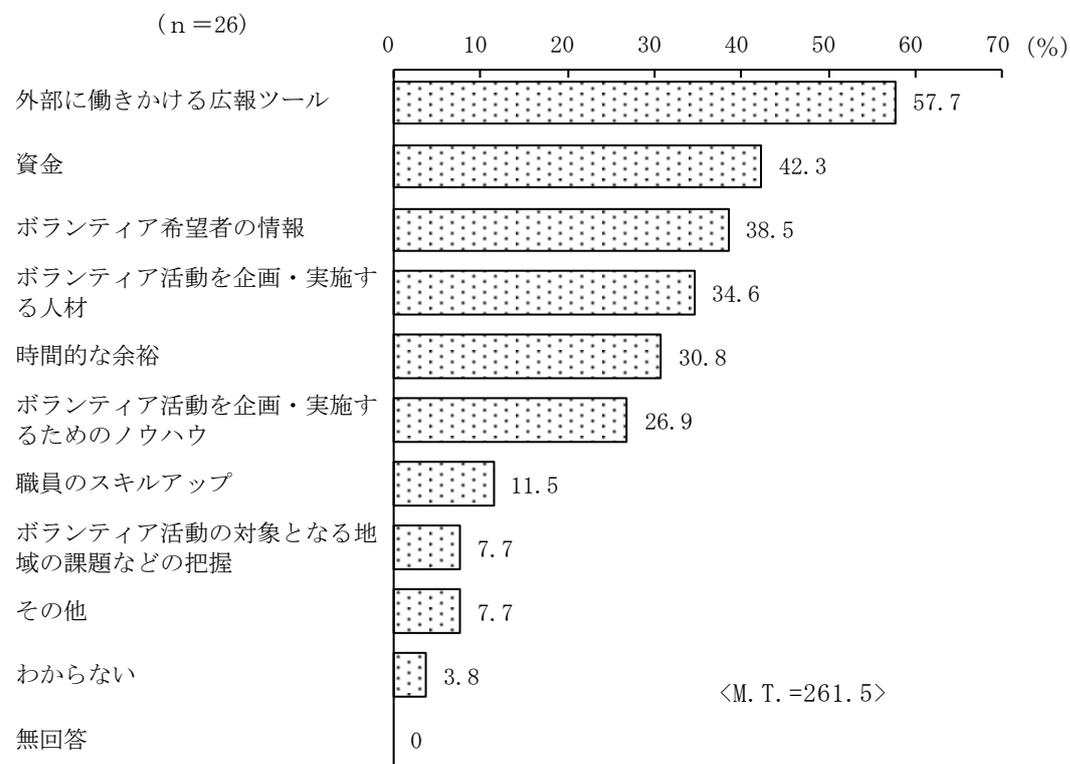


(2) 参加人数を増やすために必要なこと

外部からボランティアを募集している団体（26団体）に、参加人数を増やしていくために、必要なことを聞いた。（M. A.）

（本文P165）

- ・「外部に働きかける広報ツール」がトップ
- ・「資金」、「ボランティア希望者の情報」が続く



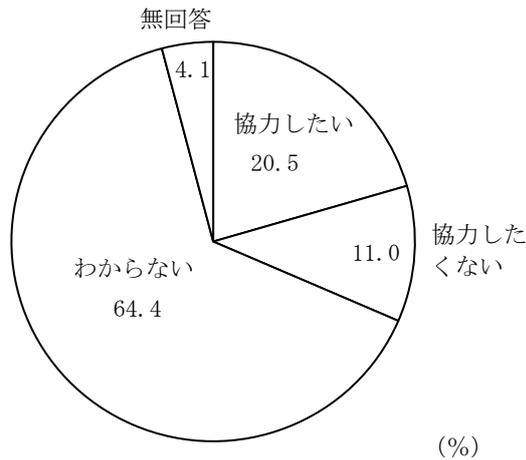
(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力の有無

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動に協力したいかを聞いた。

(本文P167)

- ・「協力したい」は21%
- ・「協力したくない」は11%

(n = 73)



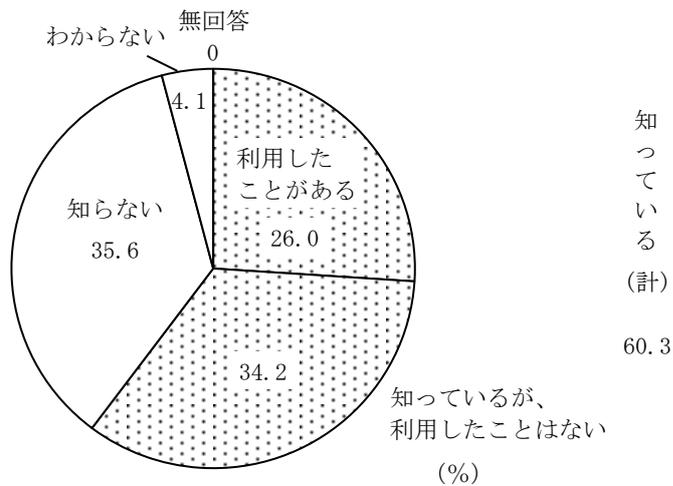
(4) 東京ボランティア・市民活動センターの認知度及び利用経験

東京ボランティア・市民活動センターを知っているか、また、利用したことはあるかを聞いた。

(本文P168)

- ・『知っている (計)』は60%
- ・「知らない」は36%

(n = 73)



(注) 『知っている (計)』は「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計

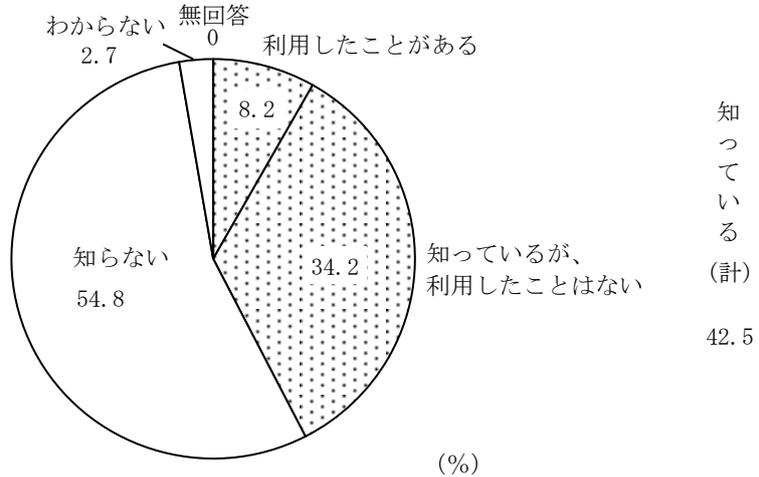
(5) 東京ボランティア・市民活動センターのウェブサイトの利用経験及び認知度

東京ボランティア・市民活動センターのウェブサイト「ボラ市民ウェブ」を知っているか、また、利用したことはあるかを聞いた。

(本文P169)

- ・『知っている (計)』は43%
- ・「知らない」は55%

(n = 73)



(注)『知っている (計)』は「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計

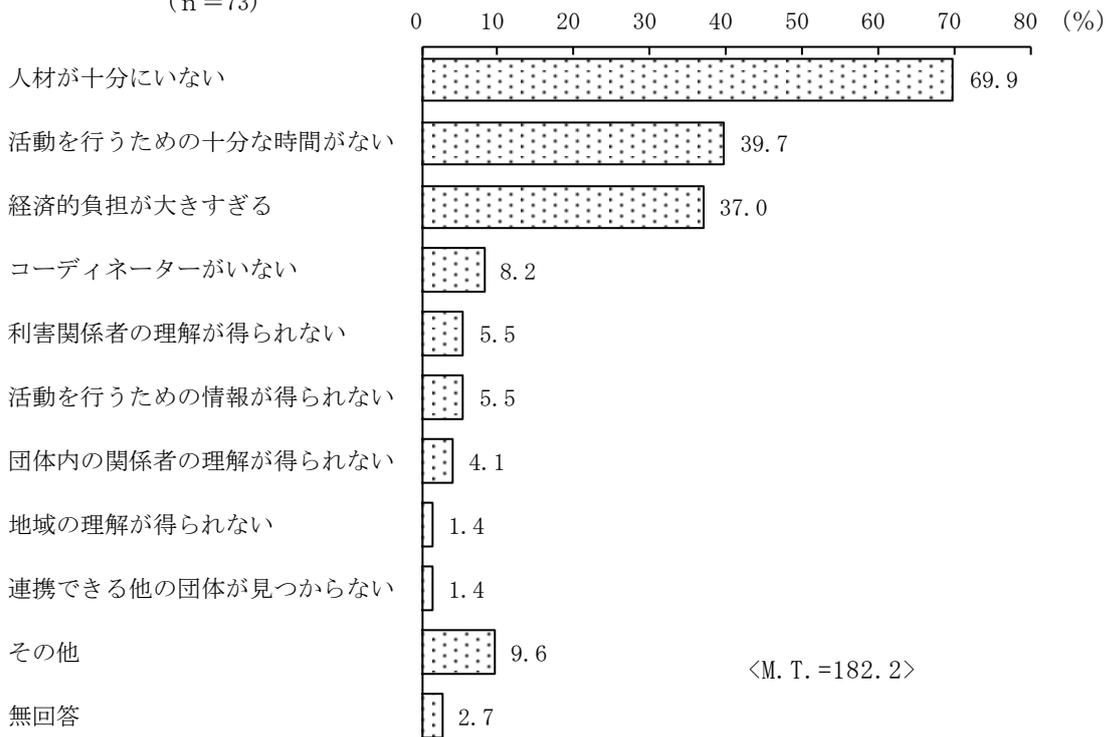
(6) ボランティア活動を推進するに当たっての課題

ボランティア活動を推進するに当たっての課題を聞いた。(M. A.)

(本文P171)

- ・「人材が十分にいない」がトップ
- ・「活動を行うための十分な時間がない」、「経済的負担が大きすぎる」が続く

(n = 73)

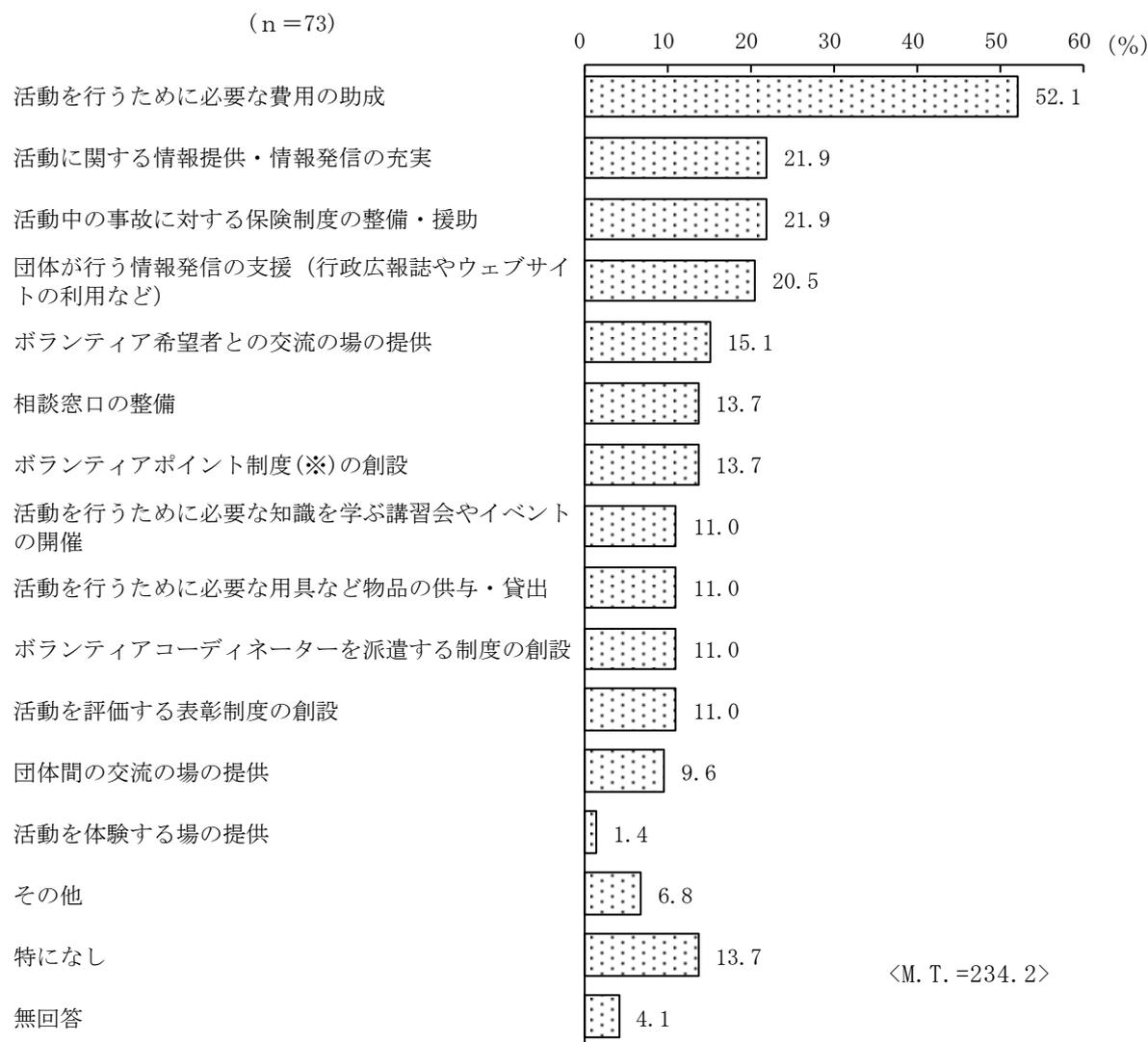


(7) 行政に対する要望

ボランティア活動に関して、行政に対する要望を聞いた。(M. A.)

(本文P173)

- ・「活動を行うために必要な費用の助成」がトップ
- ・「活動に関する情報提供・情報発信の充実」、「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」、「団体が行う情報発信の支援」が続く



※ボランティアポイント制度：ボランティア活動にポイントをつけて、そのポイントに応じて特典を受けられる制度

Ⅲ 大学向け調査

1 ボランティア活動について

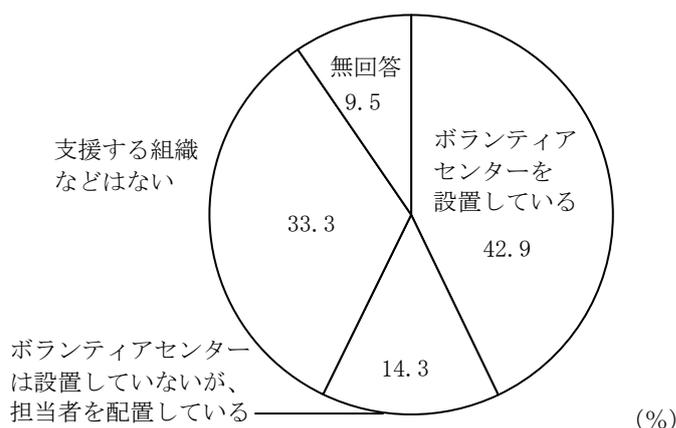
(1) 学生ボランティアの支援組織の有無

学生のボランティア活動を支援する組織などがあるかを聞いた。

(本文P179)

・「ボランティアセンターを設置している」が43%

(n = 21)



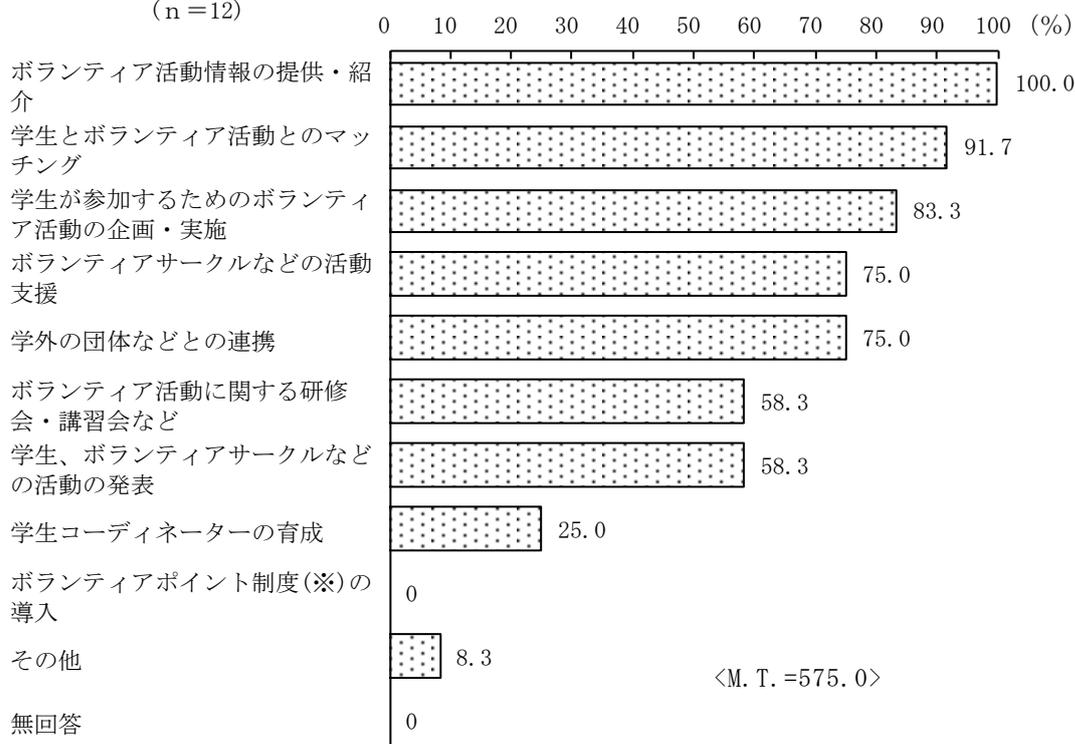
(2) ボランティアセンターなどで行っている取組

学生のボランティア活動を支援する組織がある大学（12校）に、ボランティアセンターなどで行っている取組を聞いた。(M. A.)

(本文P182)

・「ボランティア活動情報の提供・紹介」がトップ

(n=12)



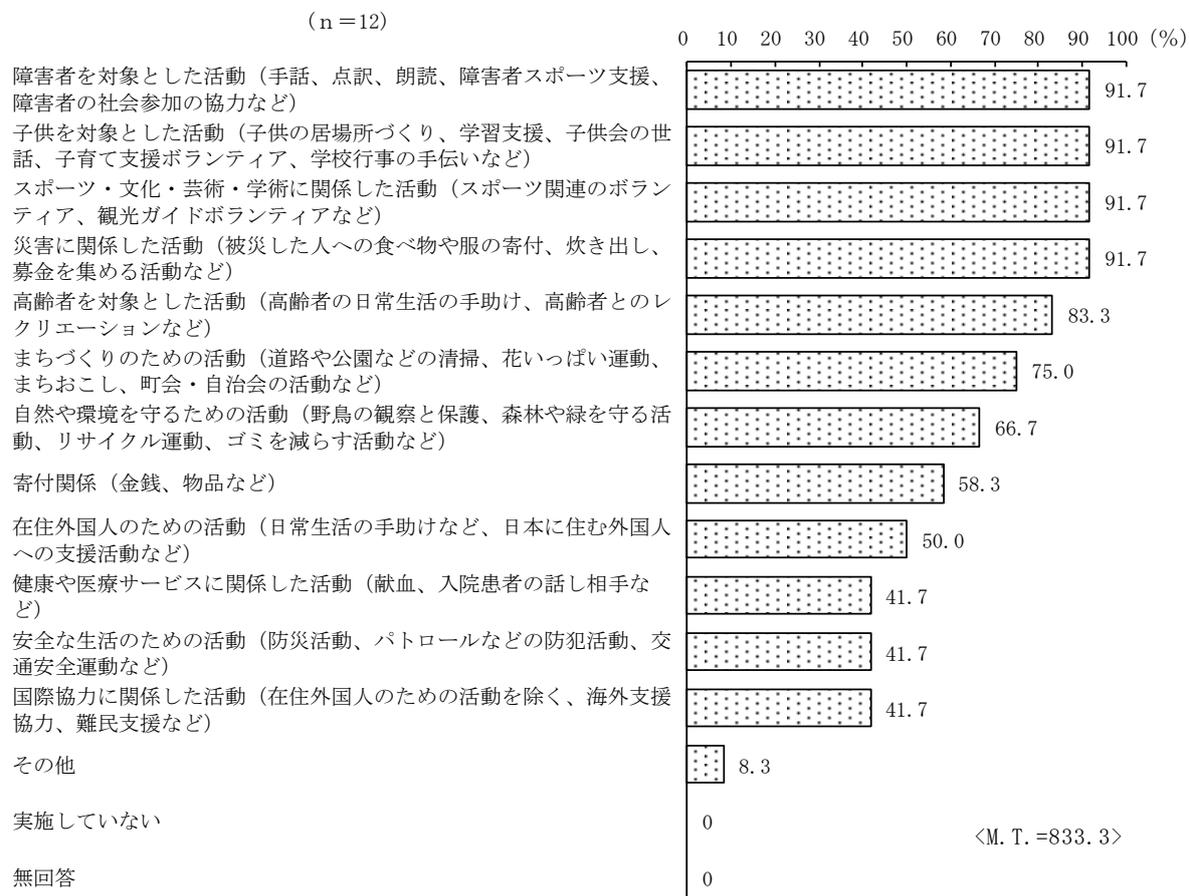
※ ボランティアポイント制度：ボランティア活動にポイントをつけて、そのポイントに応じて特典を受けられる制度

(3) 学生が参加したボランティア活動

学生のボランティア活動を支援する組織がある大学（12校）に、ボランティアセンターなどを紹介・実施をして、実際に学生が参加したボランティア活動を聞いた。（M. A.）

（本文P183）

- ・「障害者を対象とした活動」、「子供を対象とした活動」、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」および「災害に関係した活動」がともにトップ

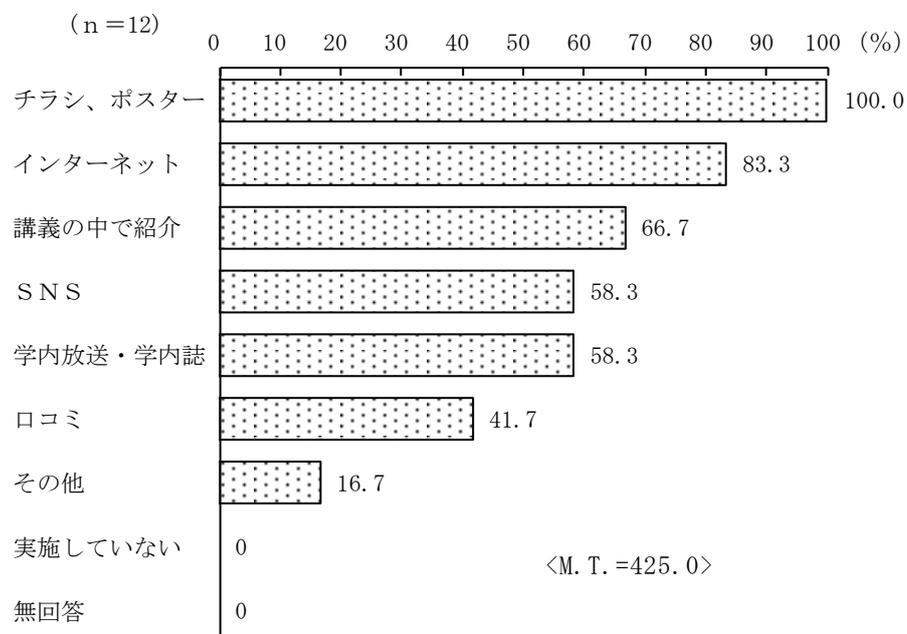


(4) 学生へのボランティア情報の周知方法

学生のボランティア活動を支援する組織がある大学（12校）に、学生へのボランティア情報の周知方法を聞いた。（M. A.）

（本文P186）

- ・「チラシ、ポスター」がトップ
- ・「インターネット」、「講義の中で紹介」が続く



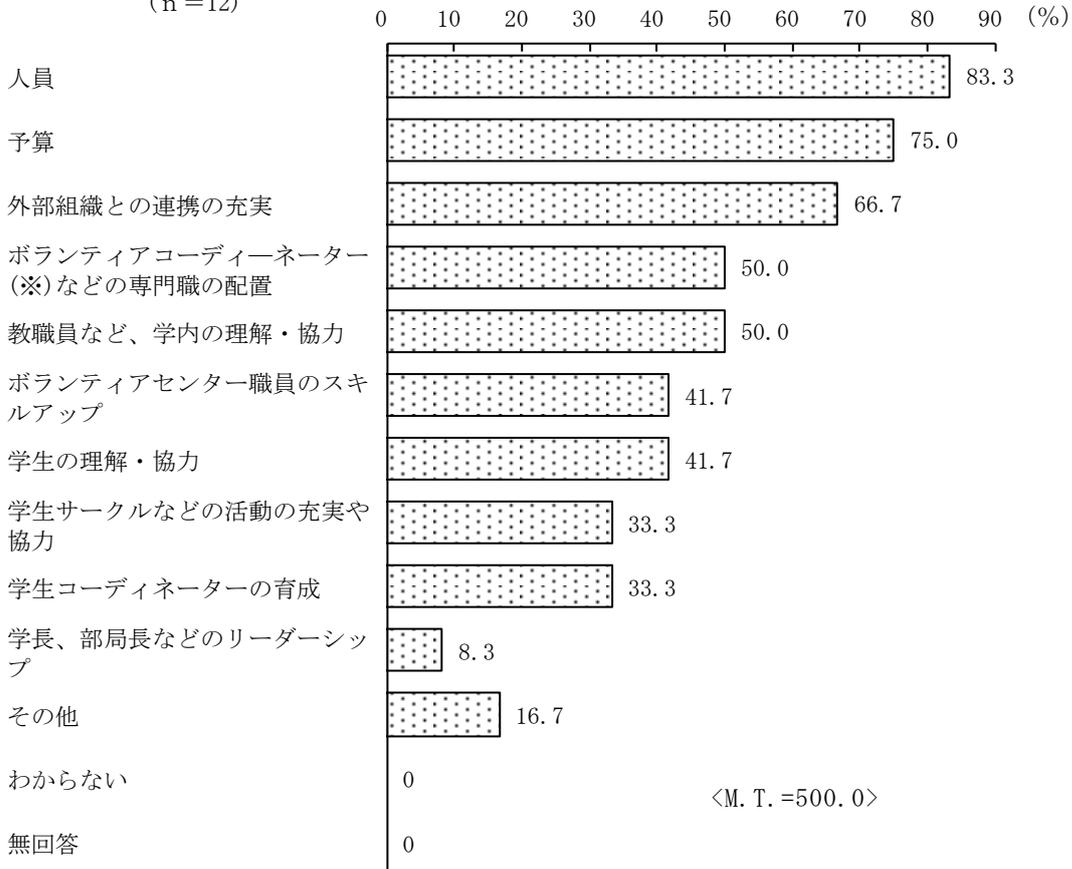
(5) 学内ボランティア活動を充実させていくための課題

学生のボランティア活動を支援する組織がある大学（12校）に、学内のボランティア活動を充実させていくための課題を聞いた。（M. A.）

（本文P187）

・「人員」がトップ

（n=12）



※ボランティアコーディネーター：ボランティア活動について、活動する側と受け入れ側を調整する人材

(6) 学生ボランティアサークルの有無

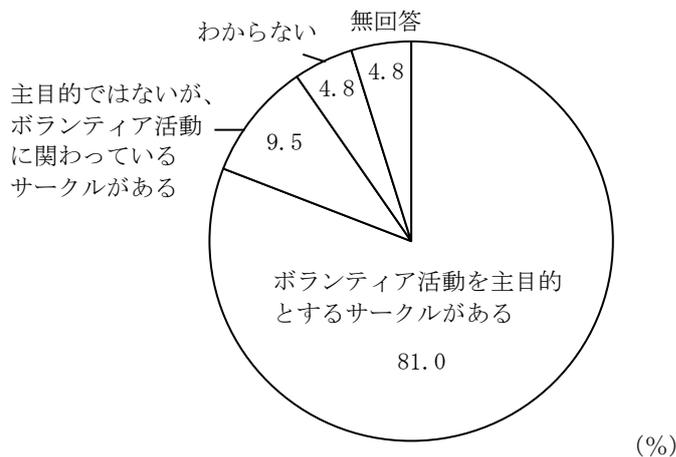
学生のボランティアサークルなどがあるかを聞いた。

（本文P189）

・「ボランティア活動を主目的とするサークルがある」は81%

・「主目的ではないが、ボランティア活動に関わっているサークルがある」は10%

（n = 21）

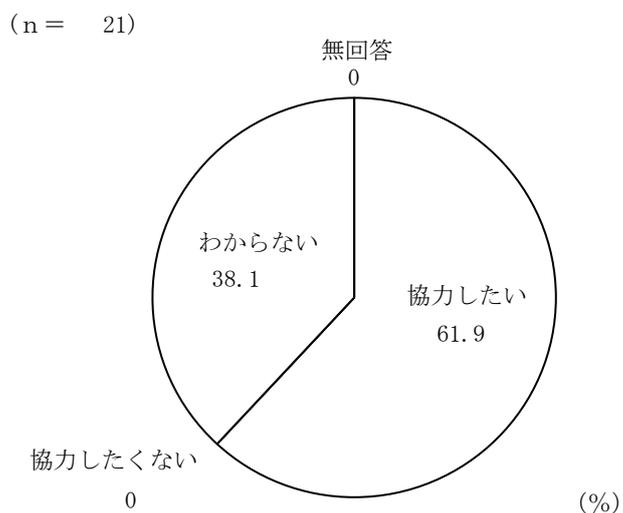


(7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力の有無

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動に協力したいかを聞いた。

(本文P193)

- ・「協力したい」は62%
- ・「協力したくない」は0%

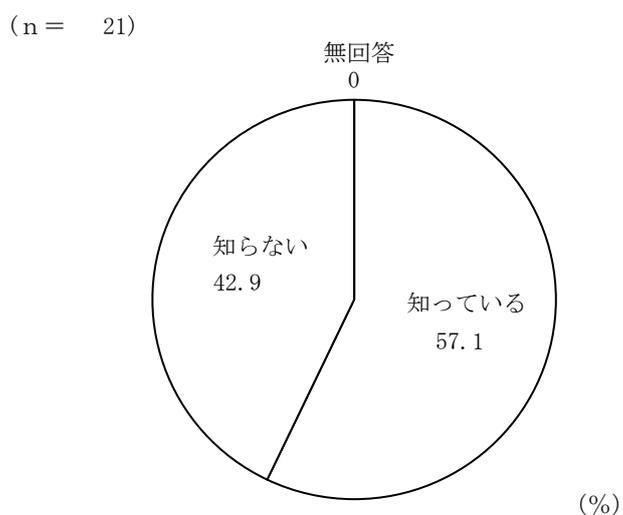


(8) 東京ボランティア・市民活動センターの認知度

東京ボランティア・市民活動センターを知っているかを聞いた。

(本文P194)

- ・「知っている」は57%
- ・「知らない」は43%

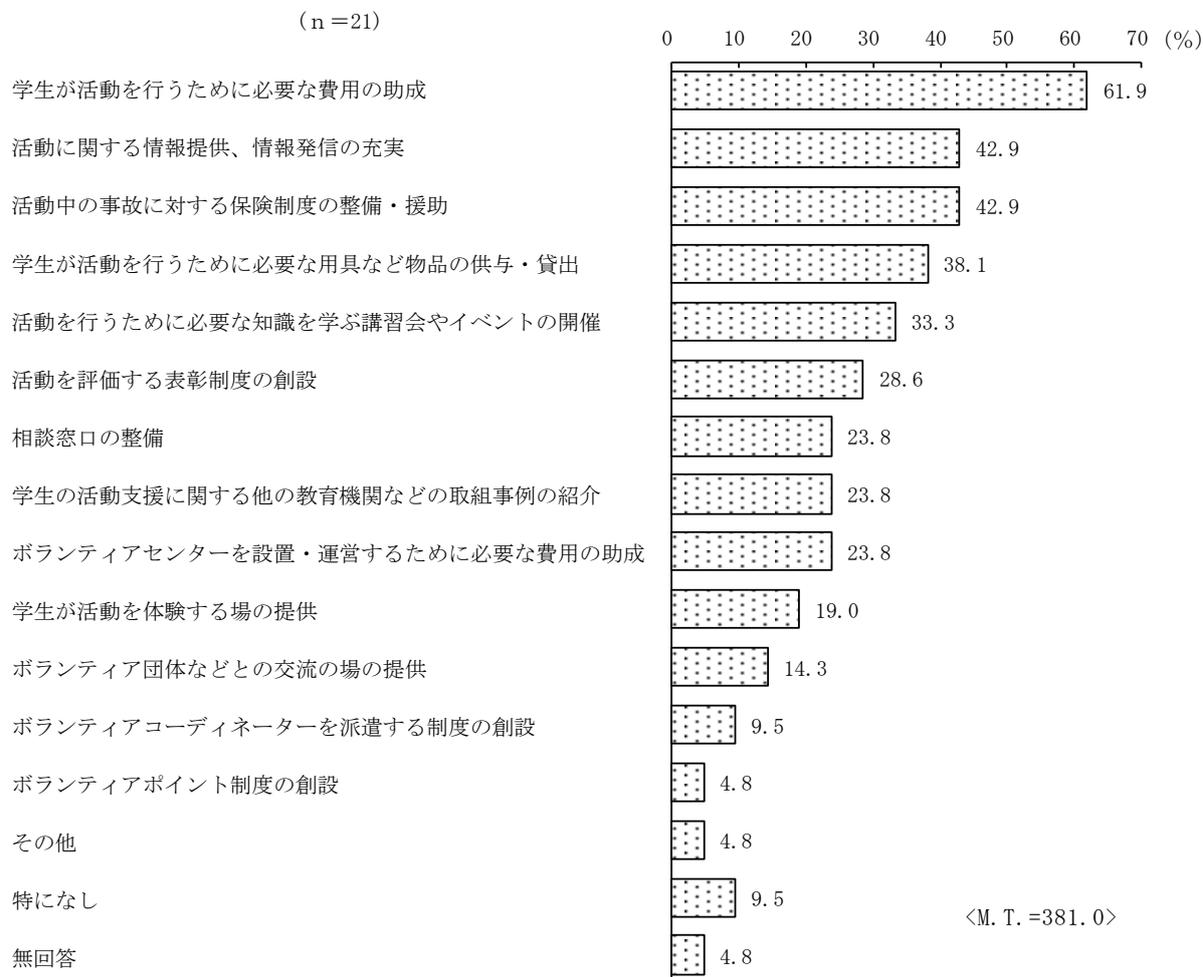


(9) 行政に対する要望

ボランティア活動に関して、行政に対する要望を聞いた。(M. A.)

(本文 P195)

- ・「学生が活動を行うために必要な費用の助成」がトップ
- ・「活動に関する情報提供、情報発信の充実」、「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」が続く



IV 中学高校向け調査

1 ボランティア活動について

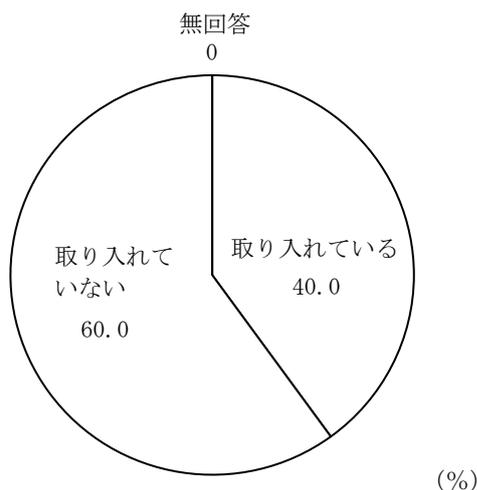
(1) 授業でのボランティア活動の取り入れ有無

授業にボランティア活動を取り入れているかを聞いた。

(本文P199)

- ・「取り入れている」は40%
- ・「取り入っていない」は60%

(n = 45)



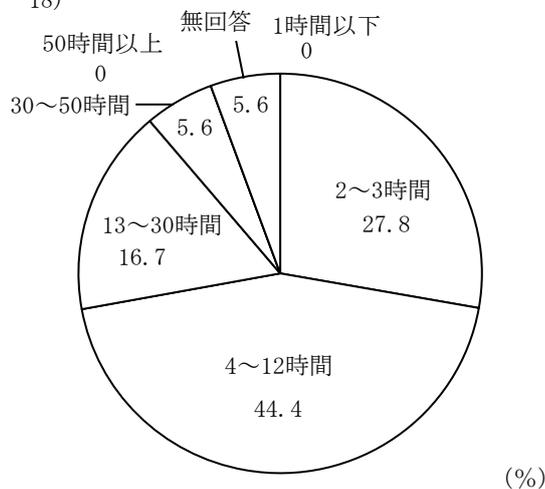
(2) 授業に取り入れたボランティア活動の年間時間数

授業にボランティア活動を取り入れている学校（18校）に、授業に取り入れたボランティア活動の年間時間数を聞いた。

(本文P200)

- ・「4～12時間」がトップ
- ・「2～3時間」、「13～30時間」が続く

(n = 18)

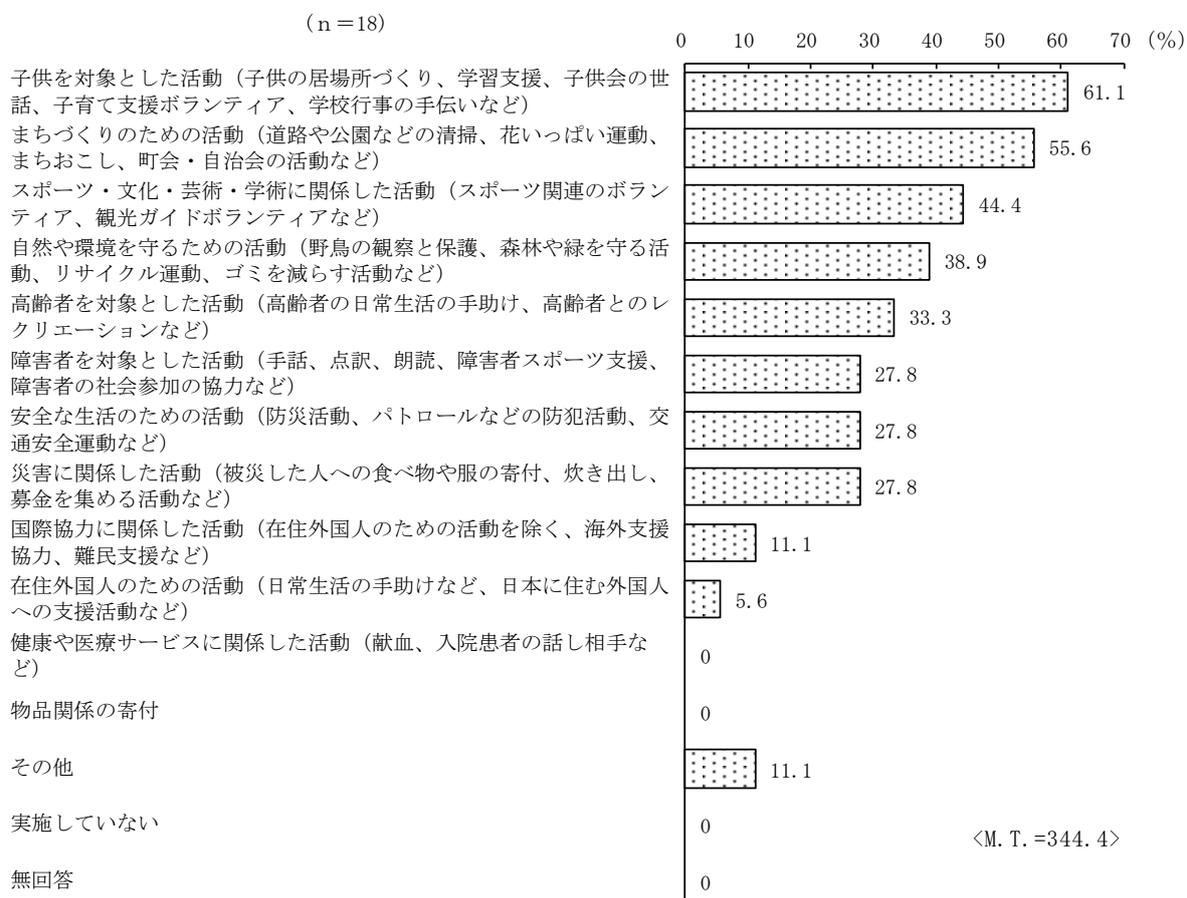


(3) 授業で生徒が参加したボランティア活動

授業にボランティア活動を取り入れている学校（18校）に、授業で実際に生徒が参加したボランティア活動を聞いた。（M. A.）

（本文P201）

- ・「子供を対象とした活動」がトップ
- ・「まちづくりのための活動」、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が続く

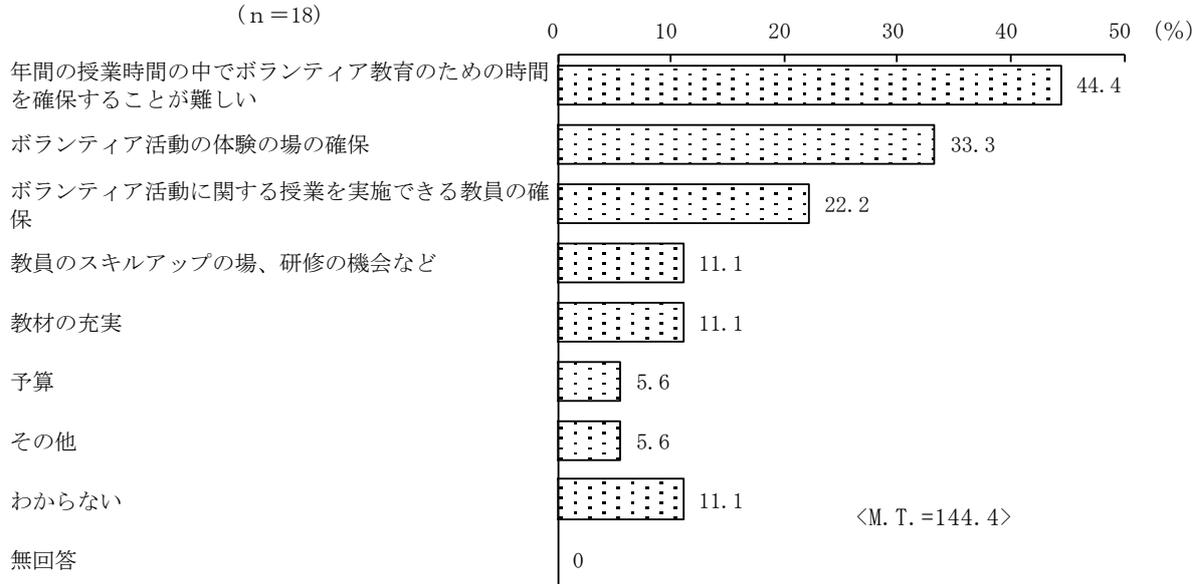


(4) 授業でボランティア活動を取り入れるための課題

授業にボランティア活動を取り入れている学校（18校）に、授業でボランティア活動を取り入れていくための課題を聞いた。（M. A.）

（本文P202）

- ・「年間の授業時間の中でボランティア教育のための時間を確保することが難しい」がトップ
- ・「ボランティア活動の体験の場の確保」、「ボランティア活動に関する授業を実施できる教員の確保」が続く

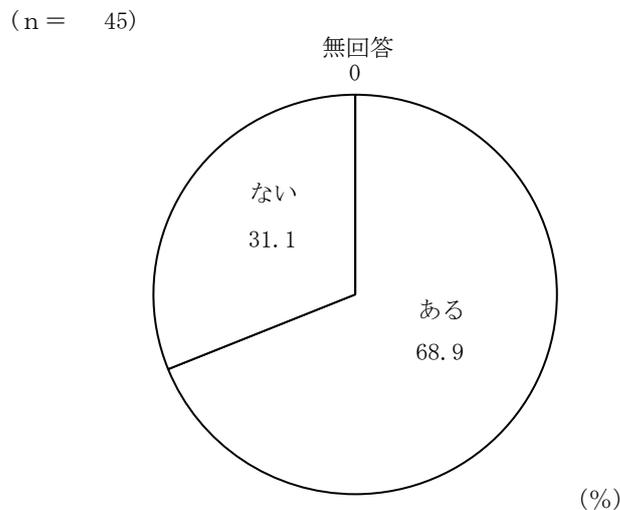


(5) ボランティア活動を行う部活動の有無

ボランティア活動を行っている部活動などがあるかを聞いた。

（本文P204）

- ・「ある」は69%
- ・「ない」は31%



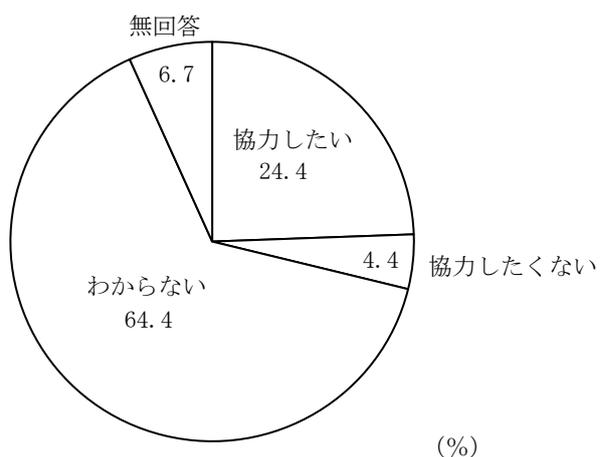
(6) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力の有無

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動に協力したいかを聞いた。

(本文P209)

- ・「協力したい」は24%
- ・「協力したくない」は4%

(n = 45)



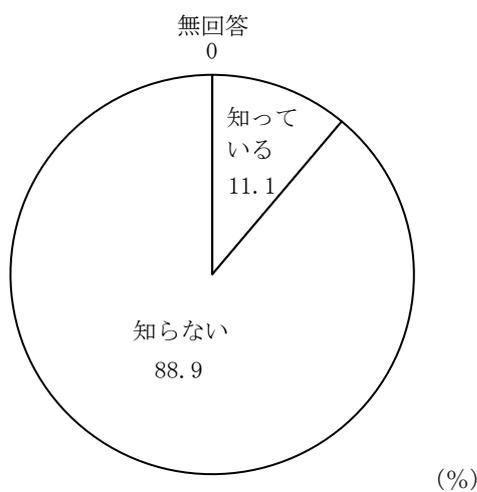
(7) 東京ボランティア・市民活動センターの認知度

東京ボランティア・市民活動センターを知っているかを聞いた。

(本文P210)

- ・「知っている」は11%
- ・「知らない」は89%

(n = 45)

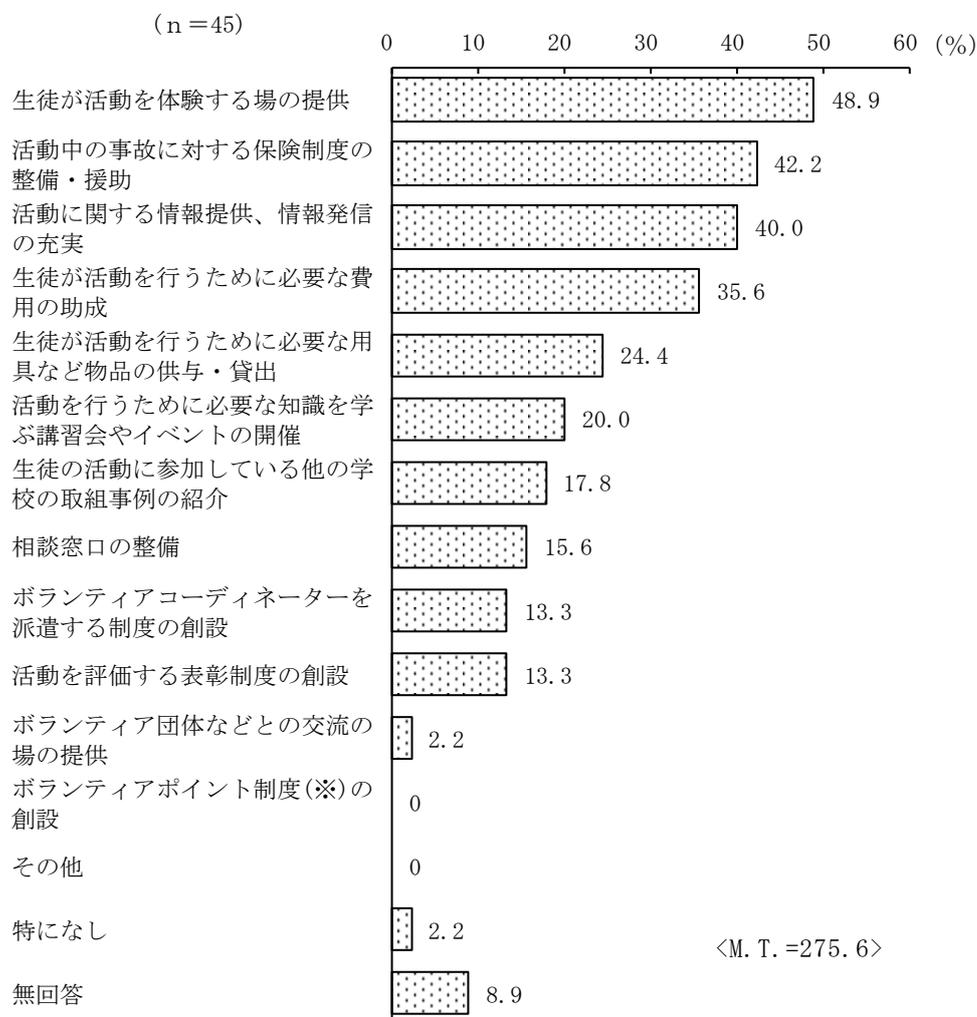


(8) 行政に対する要望

ボランティア活動に関して、行政に対する要望を聞いた。(M. A.)

(本文P211)

- ・「生徒が活動を体験する場の提供」がトップ
- ・「活動中の事故に対する保険制度の整備・援助」、「活動に関する情報提供、情報発信の充実」、「生徒が活動を行うために必要な費用の助成」が続く



※ ボランティアポイント制度：ボランティア活動にポイントをつけて、そのポイントに応じて特典を受けられる制度

V 町会自治会向け調査

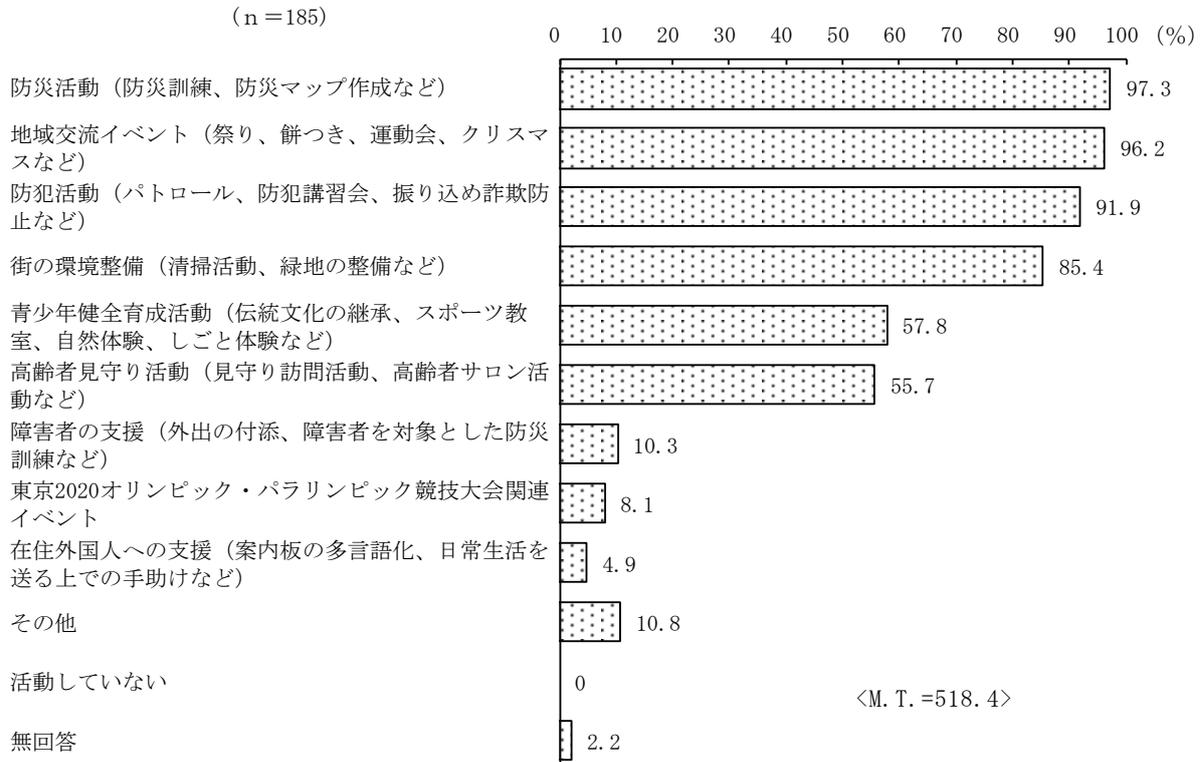
1 団体の活動について

(1) 活動内容

団体の活動内容を聞いた。(M. A.)

(本文P215)

- ・「防災活動」がトップ
- ・「地域交流イベント」、「防犯活動」、「街の環境整備」が続く



2 他の団体との連携について

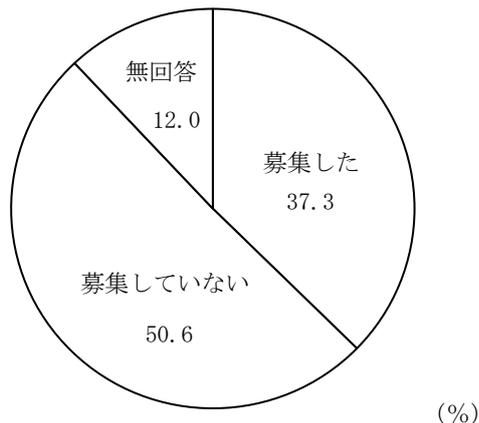
(1) ボランティア募集の有無、活動内容

活動の企画や実施に当たって、連携している団体がある団体（166団体）に、ボランティア募集の有無を聞いた。

（本文P220）

- ・「募集した」は37%
- ・「募集していない」は51%

（n = 166）

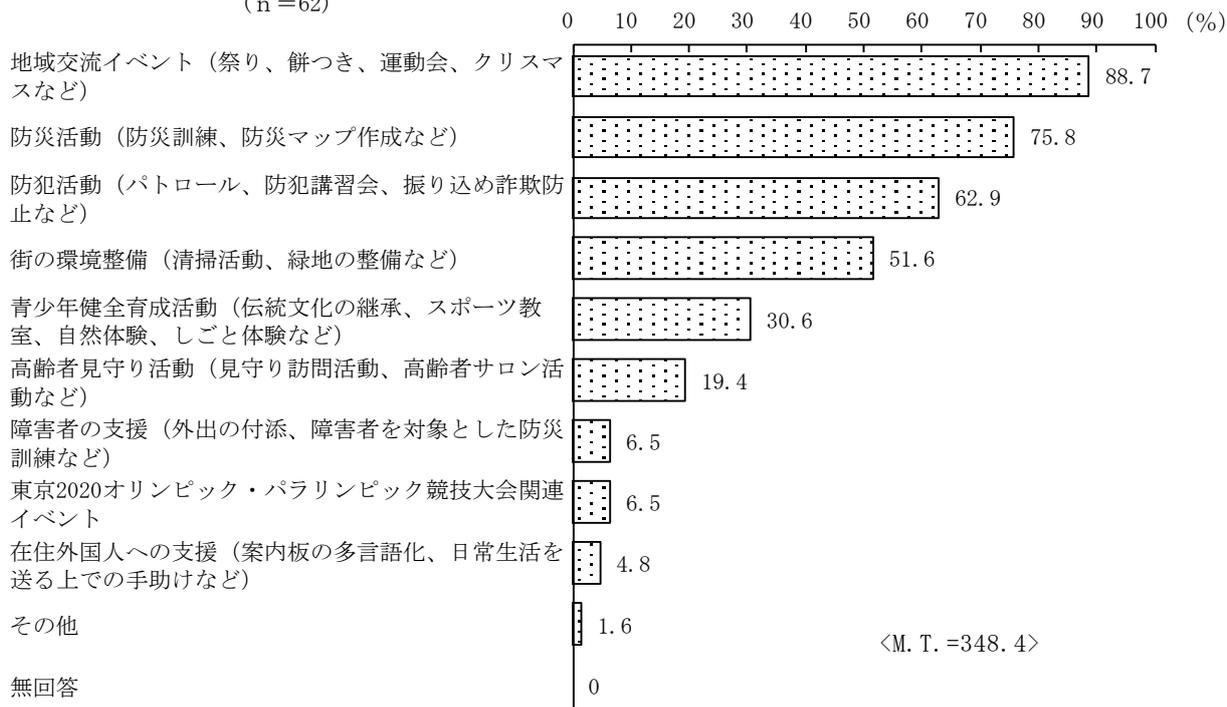


また、募集したと答えた団体（62団体）に、活動内容を聞いた。（M. A.）

（本文P221）

- ・「地域交流イベント」がトップ

（n=62）



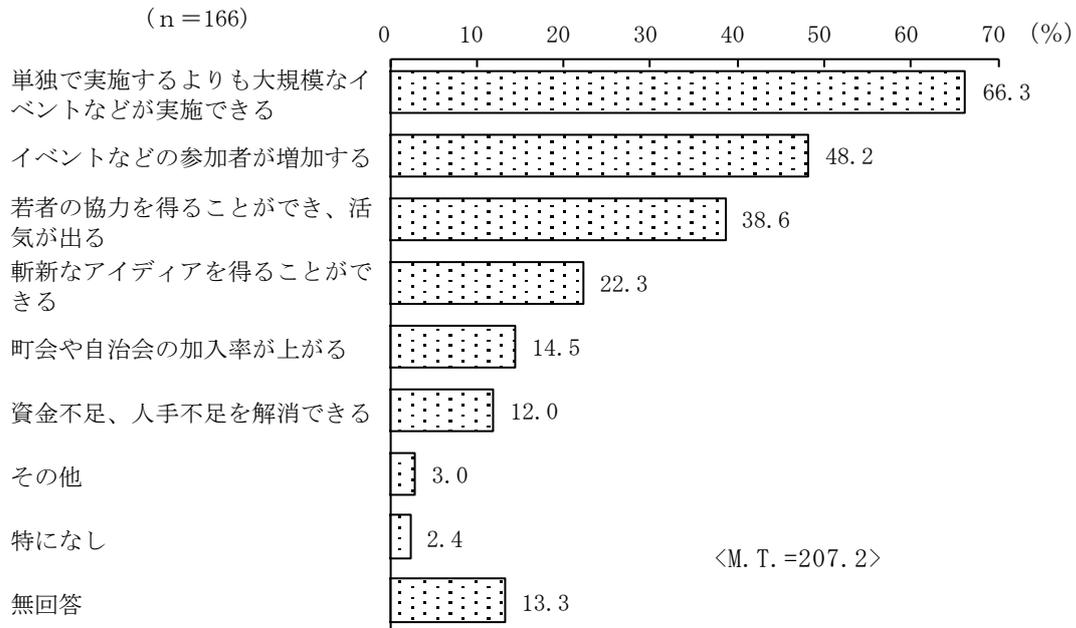
(2) 連携して良かった点や課題

活動の企画や実施に当たって、連携している団体がある団体（166団体）に、他の団体と連携して良かった点や課題を聞いた。（M. A.）

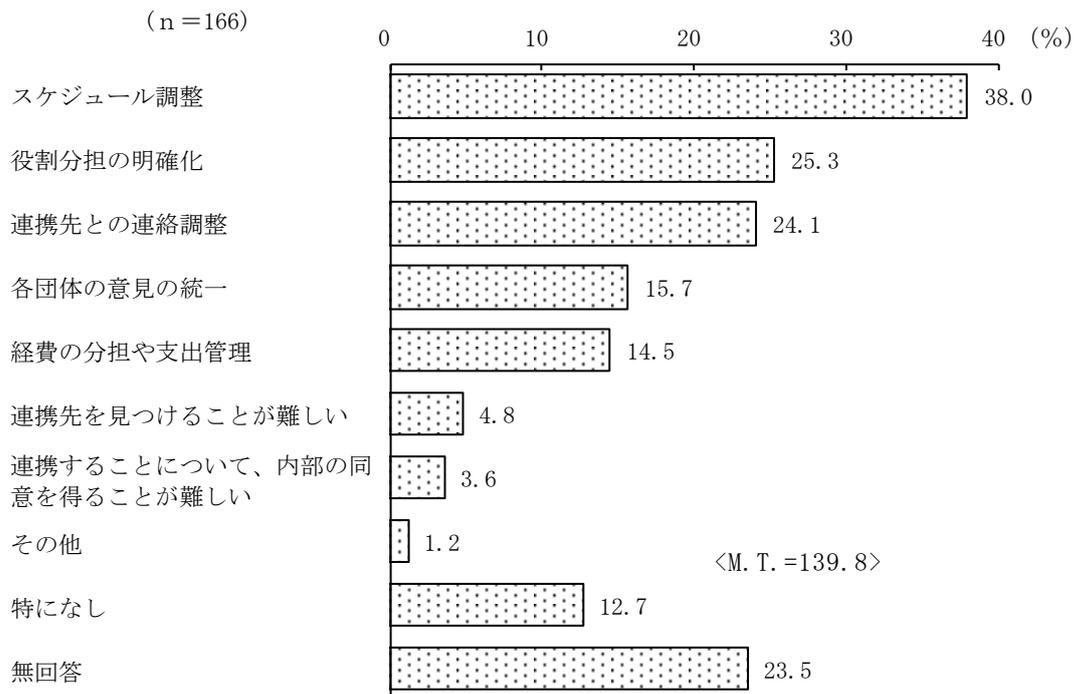
（本文P222～P223）

- ・良かった点は「単独で実施するよりも大規模なイベントなどが実施できる」、課題は「スケジュール調整」がそれぞれトップ

【良かった点】



【課題】



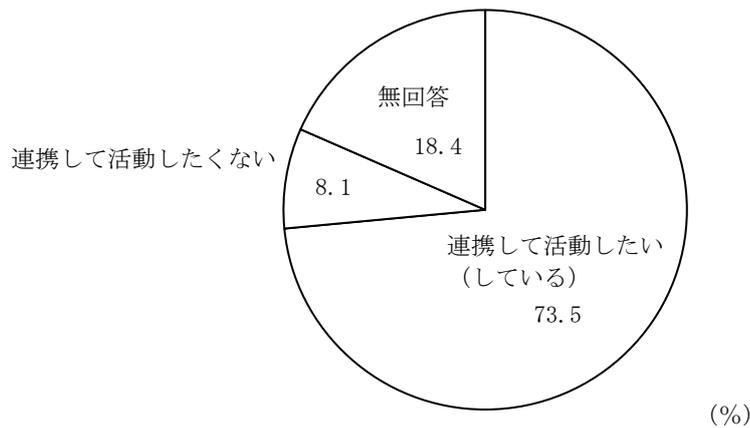
(3) 連携活動の意向および活動したい分野

今後、他の団体と連携して活動を行ってみたいかを聞いた。

(本文 P 225)

- ・「連携して活動したい（している）」は74%
- ・「連携して活動したくない」は8%

(n = 185)

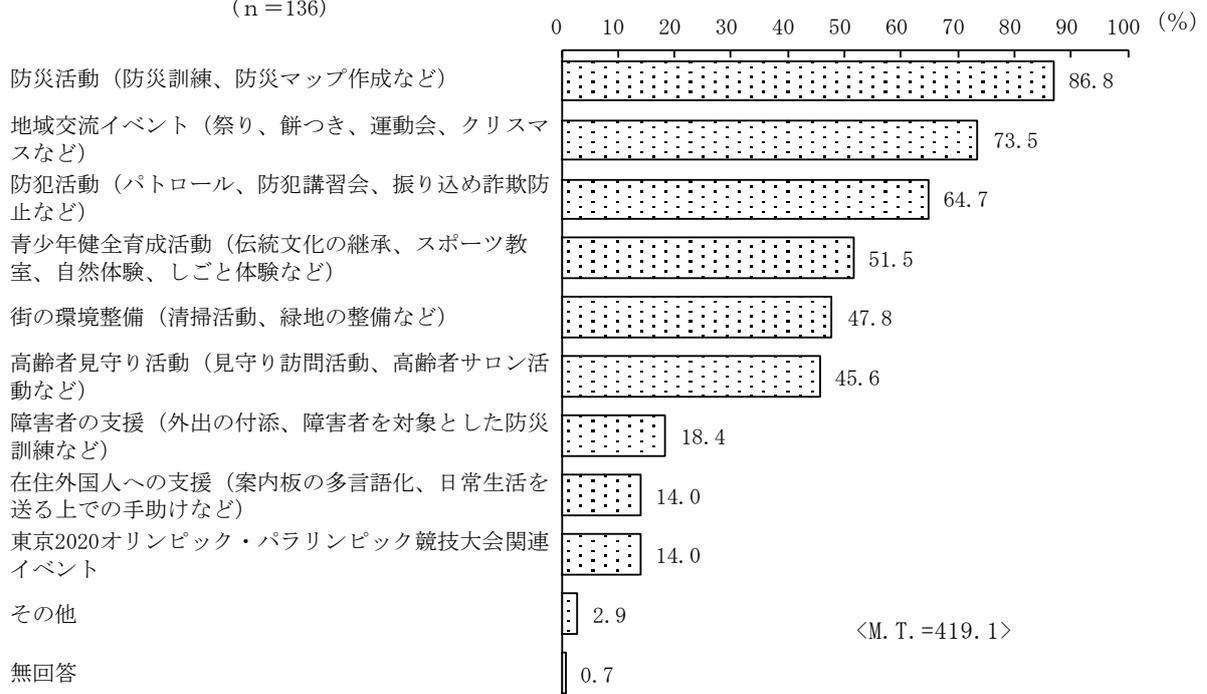


また、連携して活動したいと答えた団体（136団体）に、活動したい分野を聞いた。(M. A.)

(本文 P 226)

- ・「防災活動」がトップ
- ・「地域交流イベント」、「防犯活動」が続く

(n = 136)

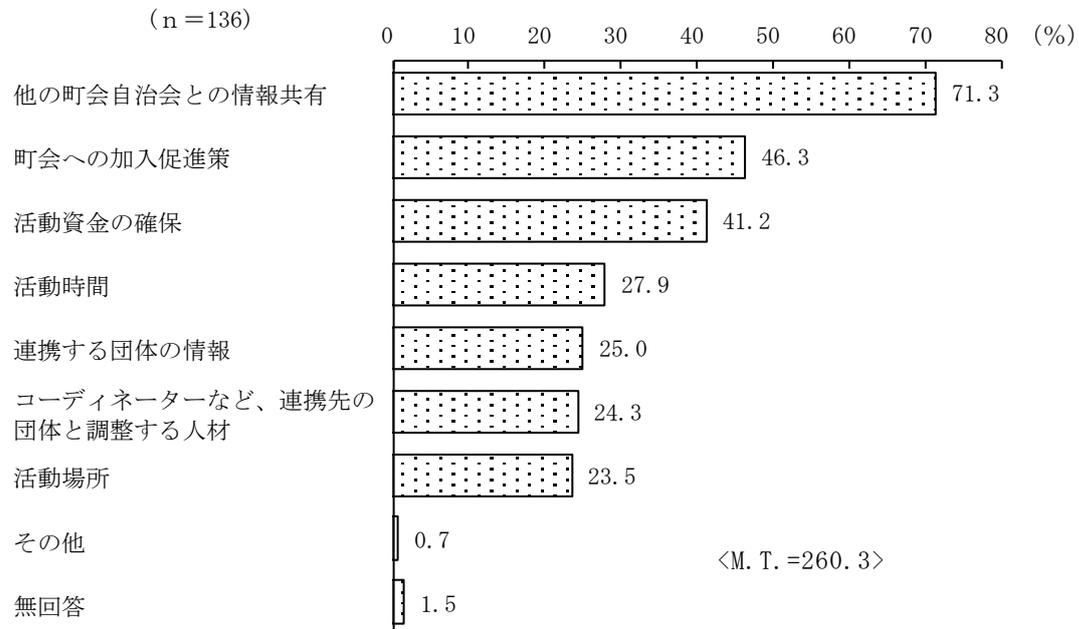


(4) 連携の継続に必要なこと

連携して活動したいと答えた団体（136団体）に、他団体との連携を継続していくために必要なことを聞いた。（M. A.）

（本文P227）

- ・「他の町会自治会との情報共有」がトップ
- ・「町会への加入促進策」、「活動資金の確保」が続く



3 その他の活動などについて

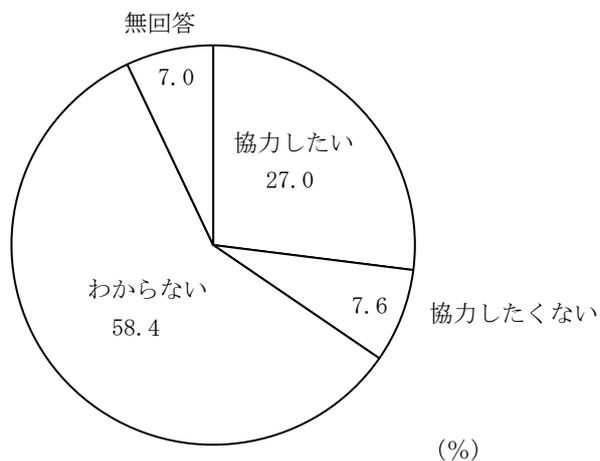
(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力の有無と協力したい活動

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティア活動に協力したいかを聞いた。

（本文P230）

- ・「協力したい」は27%
- ・「協力したくない」は8%

(n = 185)



(2) 東京ボランティア・市民活動センターの認知度

東京ボランティア・市民活動センターを知っているかを聞いた。

(本文P231)

- ・「知っている」は17%
- ・「知らない」は80%

(n = 185)

